

## 【都筑区】平成 30 年第 1 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 30 年 2 月 6 日 (火) 午後 2 時 30 分 ～ 午後 3 時 45 分
場 所	都筑区役所 5 階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】長谷川議員</p> <p>【議 員：3 名】草間議員、望月議員、斎藤議員</p> <p>【都筑区：32 名】畑澤健一 区長、奥田正則 副区長、 星野雅明 災害対策担当部長（都筑消防署長）、 永井京子 福祉保健センター長、 石川秀一 福祉保健センター担当部長、 芳我裕子 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	平成 30 年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算案について
発言の旨	<p>【地域の子育て力アップ事業】</p> <p>斎藤議員：母子保健コーディネーターと虐待の相談員との連携について教えてもらいたい。</p> <p>粒羅こども家庭支援課長：母子保健コーディネーターが、母子手帳交付に携わっている中で、継続して支援が必要な妊婦の相談に乗っている。地区の担当の保健師も含め課内で情報を共有し、定期的に訪問するなど継続的に支援をしている。</p> <p>【つづき“縁”ジン事業 ～人づくり・つながりづくり・女性が輝くまちづくり～】</p> <p>望月議員：区民活動センター利用促進事業の具体的な内容は。</p> <p>下村地域振興課長：現在の開館時間は午後 5 時までだが、試行的に週に 2 回程度、午後 9 時まで延長して開館する。その期間の利用状況や課題をふまえ、次年度以降の開館時間を検討する。</p> <p>【メイドインつづき推進事業】</p> <p>草間議員：ラグビーワールドカップ、オリンピックに向けて、市内中小企業が盛り上げたいという話をしていたが、連携して進める予定はあるか。</p> <p>田中区政推進課長：現在は検討していないが、今後、企業の皆様と話し合いをしながら、検討をする。</p>

**【国際交流・多文化共生事業 ～第7回アフリカ開発会議で広がるアフリカ交流～、未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業】**

草間議員：オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地でなくても、文化事業のみでホストタウンになれるらしい。都筑区がボツワナ共和国のホストタウンになり、アフリカ開発会議の時にボツワナを迎えてはどうか。

畑澤区長：ボツワナとは交流も深まっているので、ホストタウンについて検討したい。

**【横浜ビー・コルセアーズ応援事業】**

草間議員：ビー・コルセアーズの応援を盛り上げるために、また、地下鉄の駅の差を分かりやすくするために、交通局と調整し、北山田駅の発車ベルをE y e s'（アイズ）さんのビー・コルセアーズ応援ソングにしてはどうか。都筑区応援 d a y に合わせて試行的にでも実施してほしい。

畑澤区長：盛り上げる一環として、実施について検討したい。

**【「図説 都筑の歴史」編さん事業】**

草間議員：「図説 都筑の歴史」に、都筑区選出の議長経験者はどのように掲載されるのか。区政に貢献された方は、掲載した方がよいのではないか。

下村地域振興課長：今後、検討していく。

**【自治会・町内会支援事業】**

斎藤議員：設立を支援するマンションの対象数は。

下村地域振興課長：大規模マンションの数は9棟、世帯数は約2,600世帯である。

長谷川議員：大規模マンションの数は区内で何棟あるのか。

下村地域振興課長：大規模マンションと団地を合わせて58あり、自治会が設立されているのは49である。未設立の大規模マンションが9棟である。

長谷川議員：転勤族の方が多いマンションの状況などを把握し、アプローチの仕方を注意してほしい。

**【災害にそなえる自助・共助の推進事業】**

望月議員：地域防災拠点の研修について、27か所の拠点訓練の工夫についての意見交換の場はあるのか。また、通信機器のうち1つが使い勝手が悪いらしいので、市全体でなんとかしなければと感じ

ている。さらに、要援護者の訓練参加が少ないが、参加を促すことはできるか。

金指総務課長：拠点の運営委員向けの研修については、年3回実施しているが、その内1回は各拠点の事例紹介や、実践的な訓練の紹介をしている。通信機器の不具合については、改善に向け、危機管理室と情報共有しながら進めたい。

小西福祉保健課長：要援護者の内、地域の施設に通っている障害者の方に訓練参加を促していただくよう、運営委員会に依頼している。高齢者の方や要介護の認定が重い方などは、訓練に出るばかりでなく、地域の中で、どう支援していくか考えていただけるように働きかけている。

長谷川議員：自助・共助・公助の関係では、防災訓練に重きを置いて対策をするのか。人と人のつながりに力を入れるのか。

畑澤区長：訓練を通じて対策を実施することが、基本である。今年度も本部訓練と合わせて拠点の訓練を実施した。あわせて、人と人のつながりの部分のきめ細かい対応を地域に合わせて実施する。

長谷川議員：「つづき そなえ」の名簿の提供とともに、補助金交付も積極的に実施するという認識でよいか。

畑澤区長：28年度にアンケートを実施し、名簿の提供は連合自治会町内会単位だけでなく、単位町内会への提供を検討した。今年度は大きい単位町内会が1つ情報提供方式を取り入れた。地域に合わせた形で広がってほしい。

長谷川議員：組織づくりのため、補助金をしっかり交付しつつ、支援拡大をお願いしたい。

斎藤議員：防災・減災講演会のこれまでの講師はどのような方か。

金指総務課長：29年度は国土館大学の山崎登氏、28年度は防災システム研究所の山村武彦氏、27年度は危機管理アドバイザーの国崎信江氏、26年度は気象予報士・防災士の大野治夫氏、群馬大学の片田敏孝氏と、防災に関する知見のある方を呼んでいる。

斎藤議員：鶴見川水系水害に関する連絡会には、昨年の大雨時の川和町の水門樋門の件があった地域についても入っているのか。

畑澤区長：谷本川の流域、川和町の方も入っており、情報共有をしている。樋門の管理など、県・国とも情報共有をしている。

**【安全・安心なまちづくり事業】**

望月議員：スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発については、例年通りの実施であるか。

芳我都筑土木事務所長：スクールゾーン協議会や警察と連携し、例年通り実施する。

望月議員：危険な場所があるので、区としてできることを実施してほしい。

**【まちづくり総合調整事業】**

望月議員：都市整備局の予算概要の中で、地区計画のことが書かれているが、港北ニュータウンの理念は守っていくことを基本とするということが良いか。

田中区政推進課長：港北ニュータウンの理念は、今後も継続していくが、地区計画等の個別の内容については、時代が変わりそぐわなくなっている点などについて検討する可能性もあり、局と調整しながら進める。

望月議員：区と局の担当者がよく連携し、住民の不満にならないようにしてほしい。

**【(局事業) LED防犯灯設置事業関連】**

望月議員：一般会計で所管する土地の候補地の抽出及び売却について、区の中で具体的にどの土地を売却したのか。

下村地域振興課長：自治会町内会館用地として確保していた、早渕一丁目の土地を売却した。売却の判断や手続きは財政局管財部が行うが、区が地域と調整等を実施し、売却できた場合は、その半分の額をメリットとして区の事業に活用することができる。

望月議員：それに関して、簡潔な資料を提出できるか。

長谷川議員：資料の提出をお願いしたい。

**【(局事業)「クリーンタウン横浜」の推進事業関連】**

望月議員：歩きたばこ防止パトロールについて、具体的に教えていただきたい。

下村地域振興課長：30年度はセンター南、センター北で月に2回程度、ちらしを配布するなど、受動喫煙防止の啓発活動を実施する。

備 考